

厚生労働行政推進調査事業費補助金（エイズ対策政策研究事業）  
分担研究報告書  
血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する外科治療の標準化に関する研究  
研究分担者 横尾 英樹

研究要旨 重複感染者の高齢化に伴い、肝細胞癌以外の様々な悪性腫瘍の罹患が散見されている。血友病という背景疾患のため、標準治療が施行されていない領域も見受けられ（Takatsuki, Eguchi et al. J Gastrointest Oncol. 2021）、非感染者との予後より低下の可能性がある。今回の研究班では「外科治療診療ガイド」をブロック拠点病院で遂行できるかを検討する。具体的にはブロック拠点病院の外科医に分担研究者として参画して頂き、手術適応症例でのガイドを用いた標準外科手術の可否、問題点を検討する。

共同研究者

今井浩二、高橋裕之（所属）旭川医科大学外科学講座肝胆膵・移植外科学分野

A. 研究目的

前指定研究班で作成した「診療ガイド」を用いてブロック拠点病院を中心に、標準的な外科治療を施行の可能性を検討する。我々の先行研究では肝細胞癌に対する治療において、ガイドラインに沿った治療が施行された症例は全体の約 30%であり、出血の懸念の為に治療が手控えられていた。

その対策の為に「診療ガイド」を作成したため、本研究班では「診療ガイド」を用いた標準治療実践のためブロック拠点病院の外科医にも分担研究者となって頂き、当該患者手術の施行を検討する。また、その手術成績をデータ化し NCD データと比較することにより評価する。

B. 研究方法

重複感染者（血友病）における悪性腫瘍等に対する外科診療ガイドの実効性研究（倫理面への配慮）

C. 研究結果

HIV 感染者に対する多発転移性肝癌の手術を行った。経過は良好で現在経過観察中である。

D. 考察

血友病や重複感染のため標準治療を享受できなかった患者の予後延長に資するのではないかと考える。

E. 結論

HCV 治療が奏功した HIV/HCV 重複感染患者の肝機能は耐術可能で安全に標準的手術が施行可能であると考えられる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表  
特になし
2. 学会発表  
特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし